

メソスケール気象予測の現状と展望

目次

はじめに

第 1 章 概論	1
1.1 メソ・局地数値予報システムの改良	1
1.2 豪雨防災に貢献するための高解像度領域モデルの課題	8
1.3 メソ解析における観測データ利用の現状と展望	14
第 2 章 メソモデルの現状と課題	19
2.1 力学過程	19
2.2 積雲対流パラメタリゼーション	33
2.3 雲過程	45
2.4 雲量	56
2.5 放射	61
2.6 境界層	69
2.7 地表面過程	79
第 3 章 メソアンサンブル予報システム	85
3.1 はじめに	85
3.2 メソアンサンブル予報システム開発の経緯	86
3.3 メソアンサンブル予報システムの仕様	90
3.4 メソアンサンブル予報システムの本運用に向けた開発	96
3.5 今後の展望	108
第 4 章 メソ解析での各種観測データの利用	116
4.1 地上 GNSS データ	116
4.2 航空機観測データ	120
4.3 マイクロ波散乱計海上風	124
4.4 マイクロ波イメージャ	129
4.5 静止気象衛星ひまわり CSR	133
4.6 SSR モード S データの同化実験	142
4.7 観測誤差相関を考慮した変分法によるドップラー速度データ同化の検討	145
付録 A 略語表	156
付録 B 数値予報課報告・別冊で用いた表記と統計的検証に用いる代表的な指標	159
付録 C 電子計算室報告、同別冊、数値予報課報告・別冊 発行履歴	164